

次世代に伝えたい戦争の紙芝居 ～被爆体験者の実話と紙芝居の上演を通して「平和」を学ぶ～

10月19日(月) 13時45分～14時30分

茨城大学紙芝居研究会が制作した戦争の紙芝居「茂木貞夫物語」をオリーブ(次世代に伝えたい戦争の紙芝居読み手グループ)が上演します。6年児童との交流を通して「世界の平和」について考える社会科授業を行います。また、当日は物語の主人公である茂木貞夫さんご本人にも来校いただき、広島で小学6年生の時に被爆した体験談を話していただきます。



※写真 オリーブHPより <https://sites.google.com/view/roudokuolive>

日時 10月19日(月) 5校目(13:45～14:30)
場所 笠間市立稲田小学校 多目的室
内容 社会科授業「戦争体験談と戦争の紙芝居を通して世界の平和について学ぶ」
指導者 第6学年担任(添田 扶美子 教諭・大嶺 明寛 教諭)
児童 6年1組(21名)及び2組(20名)の児童(計41名)

・次世代に伝えたい「戦争の紙芝居」3部作は、茨城大学紙芝居研究会が、それぞれ1年をかけて作成し、上演してきました。しかし、2018年、彼らが卒業すると同時に、上演する人がいなくなりました。その後、朗読家・見澤淑恵先生を中心とする紙芝居読み手グループ「オリーブ※」が、この紙芝居を引き継ぎ活動しています。

・6年社会科で学ぶ「長く続いた戦争と人々の暮らし」の学習では、唯一の被爆国である我が国の戦争の歴史について学びながら、世界の平和について考えます。SDGsと関連付けて、「世界の平和」のために自分たちができることを考えて実践する学習となるように、授業を設計します。

※オリーブHP <https://sites.google.com/view/roudokuolive>

・本授業は、SDGs(持続可能な開発目標)のNO.16「平和と公正をすべての人に」と関連付けて実施し、戦争のない平和な世界をつくるために自分たちにできることを、みんなで考え合い実践していくことをねらいとしています。

・当日の授業の様子を「笠間チャンネル(動画サイト)」にも後日掲載する予定です。

この件に関するお問い合わせ

笠間市役所 学務課 担当:青木 真樹子

電話番号:0296-77-1101(内線379) ファックス番号:0296-78-1023 e-mail:gakumu@city.kasama.lg.jp